

氏名	江良 裕子	部署	口腔保健科学専攻	職名	助教
研究分野	歯科理工学、口腔保健学				
学位	学士（教養）				
学歴	1992年北海道立衛生学院 歯科衛生学科、2008年放送大学教養学部 生活と福祉専攻、2014年北海道大学歯学研究所 口腔病態学講座 細胞分子薬理学教室（研究生）				
経歴	1992年～2004年 歯科診療所勤務 歯科衛生士、2004年～2006年居宅介護支援事業所勤務 ケアマネージャー 2006年～2018年 北海道歯科衛生士専門学校勤務 教務主任、2018年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 助教				
所属学会（役職）	歯科衛生教育学会、歯科衛生学会、歯科理工学会、SPU学会（会計、運営委員）、北海道歯学会、代用臓器・再生医学研究会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
2						
3						
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
2						
3						
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	カゴ状ナノシリカ粒子を用いた薬剤徐放性歯科材料の開発	共同	日本歯科理工学会、東京都	○江良裕子, 阿部薫明, 赤坂 司 吉田靖弘	2019.4	
2	ナノポーラス物質含有による歯科用シーラント材料から薬剤徐放特性の検討	共同	日本歯科理工学会、長崎市	○江良裕子, 中西 康, 阿部薫明 玉井美保, 赤坂 司, 吉田靖弘	2019.10	
3	小児・乳幼児のう蝕予防を目指した殺菌剤徐放性新規歯科用シーラント材の開発	共同	SPU学会、越谷市	○江良裕子, 阿部薫明	2019.10	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2						
3						
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	赤外照射による外部刺激応答性を持つ低侵襲インテリジェントDDSの開発	研究分担者	2019.4～2020.3		
2						
3						
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	口腔保健科学概論		1	歯科衛生法に基づいた歯科衛生業務について、入学直後の学生が理解できるように、事例を挙げて講義を行った。		
2	歯周病予防処置法Ⅰ		9	webclassを活用し、学生がいつでも見て学ぶことができるよう工夫した。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	矯正歯科学		15	学内担当として、非常勤講師の講義や試験の準備を行った。
2	歯科材料学		15	学内担当として、演習の準備やサポートを行い、授業がスムーズに進むよう努めた。
3	口腔健康教育論Ⅱ		8	歯科衛生過程を学ぶことができるよう、情報収集や得た情報の分析・解釈についてサポートを行った。
4	口腔健康教育実践論Ⅰ		6	対象に合った媒体発表ができるよう、媒体作製・発表練習にてサポートを行った。
5	齲蝕予防処置法		9	学生同士が積極的にコミュニケーションを取り合い、学習を深めることができるようサポートを行った。

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	ヒューマンケア体験実習		2019.9.20～ 2019.9.27	多職種連携の導入として、初めて会った学生同士が活発に意見交換できるような環境を整えるよう工夫した。
2	歯周病予防処置法Ⅱ		18	エアスケーラーと超音波スケーラーの違いが理解できるよう、講義でそれぞれの違いについて説明した後、実際に両方とも使用してもらい、理解を深めるよう工夫した。
3	歯周病予防処置法Ⅲ		16	安全に実習ができるよう、準備～実習～片付けまでの一連の流れを学生と共に行った。
4	チーム歯科医療学Ⅱ		8	学生が技術を身に付けられるよう、必要に応じてマンツーマンで手を取りながら実習を行った。
5	チーム歯科医療学Ⅲ		17	臨床実習が始まる前の実践的な実習のため、学生達に根拠を考慮してもらうよう工夫した。
6	臨地・臨床実習Ⅰ		2019.6.13～ 2020.1.30	実習引率、カンファレンスを行った。
7	臨地・臨床実習Ⅱ		2019.10.10～ 2020.2.28	実習オリエンテーション、カンファレンス、インシデントの対応を行った。
8	臨地・臨床実習Ⅳ		2019.4.8～ 2019.8.5	実習引率し、現場で対象者とコミュニケーションが円滑に取れるようサポートした。

(4) 論文指導						
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数			
1	卒業論文	2019.4～2020.1	主指導	3名	副指導	名
2			主指導 (指導教員)	名	副指導 (指導補助教員)	名
3			主指導 (指導教員)	名	副指導 (指導補助教員)	名

(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	第3学年副担任		学生が自主的に行動できるよう配慮した。	
2	学生アドバイザー		1年生～4年生の学年間交流を行った。	
3				

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	清透祭での公開講座	口腔保健科学専攻	8020達成のために ～親子でお口のチェックをしてみませんか～	2019.10
2				
3				

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	SPU学会	運営委員	2019.4～2020.3	
2	SPU学会	会計委員	2019.4～2021.3	
3				
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
2				
3				
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	ハラスメント防止対策委員会 相談員		2019.4～2020.3
2	大学広報活動	オープンキャンパスへの参加		2019.8.3～4
3	学生支援	3年次担任		2019.4～2020.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	企業賞	歯科理工学会		2019.10
2	優秀発表賞	SPU学会		2019.10
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				